斯かる如き図らんや組織変更なる名目の下に隠れる神戸又新日報社の現状を見よ、彼れ等は実質に於て神戸又新日報社の権力者であるにも不拘私達の教養ある人格者佐藤勝三郎氏の謙譲勇断なるを奇貨として代表社員と云ふ表看板に利用し、悪辣なる意味を揮つてゐるのであります

先づ昨年十二月神戸又新日報社々員のクーデターに依り渡辺前社長に引退役に對ひ込み、初春の夢、蘇君の醉まださめやらぬ本年一月社員に記者と私達工場員に対して二十有余名の大減員を発表し、会社員の割当賃金は減らず従業の障益を計る可き協同を私達は強ひられたのであります。私達は両者の二十何年に亘る守り来か、私達工場の凡ての操業は順調に何等の遅滞もなく平和の裡に進んでゐたのであります

然るに彼れ等は私達の僚友を葬り文選長公選の不文律を破棄したばかり来なる卑劣漢として私達工場員を指揮せざらしめんとしました。一方又私達の僚友青山、武仲両君が判規の手続を踏みて多年多日を誠勤した事を一枚の辞令に於ける提示に依つて解雇を敢てしたのであります

私達は此の不合理なる暴戻に反抗する前に堪ふべからざる忍従をなし私達工場員の連署を以て右二名の復職を歎願したのであります、然るに会社側は無情にも一言の下に刎ねつけ哀訴歎願する私達に向つて工場退出を申し渡し、彼れ等は予て備へたる私達労働者の生活を破壊せんとする裏切者を工場に入れて作業を続けてゐますけれ共円滑を欠き、其の製品たる新聞紙は醜悪極まるものであり、一般読者と広告主諸氏との蒙むる損害は実に莫大なるを思ふにつけます、然し私達が求めたのではありません、冷酷無情の暴戻が予想する所に到らしめたのであります

私達が会社に向つて歎願し要求して争つてゐる点は左の三項であります

文選長留任の件

青山・武仲両君の不当解雇取消の件

今後首者を出さゞる事

以上を見て如何に私達の要求が実際的であり穏健であるかを認めて頂きたいのであります

神戸又新日報社経営部記者として三十有余年勤続せし上山勢氏を一枚の解雇辞令と僅か二ケ月分の涙金で追つ払つた如き、又印刷部員は給料を約半減され作業執事を向のまゝに強ひらるゝの已むなきに至つた如き、如何に彼が没常識であり没義道であるかを知ることを得るではないか

私達の周囲は暗黒であります、私達は私達僚友を救ひ且つ私達自身の危機を免るゝべく社会共存共栄の為め、神戸印刷労働組合の大旗の下に戦はんとするのであります

一九二六年のメーデーを前に

神戸又新日報社争議団